

2007 年度

科目名 宗教学講読 B	対象学科・学年 文学部文財 2 回生 人間人社 2 回生	担当者 貫名 譲
授業テーマ 鎌倉新仏教の祖師とその教え		
授業の概要と目標 日本の歴史を見ていくと、流れを変えるいくつかのポイントがあります。領域は様々ですが、思想面において一つあげると、鎌倉時代にあります。それは日本人の精神（心）に、現在に至るまで影響を及ぼすことになるほど大きなものでした。「鎌倉新仏教」といわれるものです。法然・親鸞・栄西・道元・日蓮たちが説いた教えは、同じ仏教でありながら特徴が大きく異なっていました。しかし、彼らが示したものは人々の心に大きな衝撃を与えたことは同じです。彼らの言葉に触れてみたいと思います。		
評価方法 レポート試験（60％）、出席状況・授業態度（40％）、総合評価で行います。		
テキスト	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 ① はじめに ② 日本の思想史 ③ 日本仏教の誕生 ④ 平安時代の仏教 ⑤ 鎌倉時代とは ⑥ 鎌倉新仏教 ⑦ 法然の仏教 ～南無阿弥陀仏の世界～ ⑧ 親鸞の仏教 ～感謝と家族～ ⑨ 栄西の仏教 ～自らの心を清らかにしていく～ ⑩ 道元の仏教 ～ただひたすら坐禅～ ⑪ 日蓮の仏教 ～南無妙法蓮華経の世界～ ⑫ 彼らの残したもの ⑬ 現在の日本思想 ⑭ まとめ ⑮ レポート試験		